九州技術教育専門学校　客観的な成績分布の把握について

本校では、学科ごとの成績の分布、及び個々の学生の成績の位置づけについて、GPA（Grade Point Average）を用いて客観的に把握する。

□GPA について

GPA とは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価を数値化（Grade Point）し、その GP に各科目の単位数を乗じた合計を、総単位数で割り算出した平均値のことをいう。
この GPA は、個々の学生の、学習への取り組み方を客観的に把握するための指標及び、技術習得状況の判断材料となり、これをもって学習指導ポイントの把握、指導方法の改善の指標とする。

□GPA の適用方法

(1) 実施時期

GPA の算出及び成績分布の把握は、成績を判定する前期末、後期末において実施する。

(2) 対象科目

受講した全教科を対象とする。

(3) GPA の通知時期

各期（前期、後期）の成績通知と同時に発表する。

(4) 成績の GP 化（数値化）

表２「GP 設定表」に基づき GP（Grade Point）を設定し、評価を数値化する。

評価点	評語	①Grade Point
100～80	優	3
79～65	良	2
64～50	可	1
50 未満	不可	0

表２　GP 設定表

(5) GPA の算出方法

(A) 評価（優、良、可、不可）を(4)に従い GP に変換する
(B) 評価（優、良、可、不可）ごとの単位数の合計を算出する
(C) (B)で算出した値を(A)に乗算し、評価毎の得点とする
(D) (C)の合計値の平均を算出する

評語	(A) GP	(B) 単位数	(C) (A)×(B)
優	3	18	54
良	2	8	16
可	1	3	3
不可	0	1	0
	計	**30**	**73**
			(D) **2.4**

ポイントによって重み付けされた評価ごとの得点

評価ごとの単位数の合計を算出する

得点の平均（GPA）
（得点合計÷総単位数）

(6) GPA 評価の目安

GPA	成績総合評価
2.7～3.0	大変優秀である
2.4～2.6	優秀である
1.8～2.3	平均的である
1.5～1.7	努力を要する
0～1.4	より一層の努力を要する

(7) 成績分布の把握

- 算出した対象学科の、全学生の GPA をデータとしグラフ化する。
- 全学生の GPA をソートし、個々の学生の位置づけを判定する。
- 分布の状況から、指導内容の改善を検討する。